

各部会の報告（運営会議実施日：2月1日時点）

※前回の開催については、報告済みの会議は除きます。

個別支援会議		
前回の開催内容報告	令和6年1月10日（水）13：30～15：00	参加人数 25名
<p>今月は、事例検討会を実施。</p> <p>事例の内容は、「視覚障害者の方への就労支援、社会資源の繋ぎ方について」とし、参加者で話し合った。</p> <p>50代男性で、一般就労をしていたが、病気発症後、視覚障害となり、仕事が継続できない環境となり、次の働く場所を見つけるため福祉就労事業所等に、見学や体験をしたが、繋がらず、自信をなくしてしまう場面が重なってしまった。</p> <p>相談支援専門員として、この方への今後の支援の方向性について、参加者みんなで検討をした。</p> <p>その中で、同じようなケースでの関わりから、具体策を出していき、自分だったらどうする等を話し合い、アセスメントの見直しや、課題を整理しながら、本人の希望に合うサービスやサービス以外の社会資源、余暇活動について等、具体的な支援について検討した。</p> <p>本人への必要な配慮や、環境を整えることで、できることや強みが広がり、繋げる支援を目指していくことを共有し、学ぶことができた。</p> <p>この後は各事業所からの情報交換を行い、新年度へ向けての各事業所の体制等について共有した。</p>		
次回開催予定		
令和6年3月6日（水） 13：30～		

精神地域生活支援、ケアマネジメント合同会議		
前回の開催内容報告	令和6年1月17日（水）13：30 ～ 15：00	参加人数 21名
<p>今月は事例を通じた意見交換や検討など、日々の関わりの中で困っていることや、この場で検討したいこと等の情報交換を行った。</p> <p>医療関係者からの話題提供で、精神障害や知的障害がある人の、がん治療や終末期医療について、通院の問題や在宅等での健康管理の問題、訪問看護や訪問診療の利用問題等、実際の支援の中で課題に思うこと等について話合った。</p> <p>グループホーム等、各関係機関から出た意見の中で、障がい特性から、病状の理解が難しく、痛み等の訴えができず、治療や服薬拒否から医療に繋がりがづらく、救える命も救えない現状があり、施設や住居支援の中で、医療との連携について限界があった。</p> <p>また相談支援専門員からは、病気を受け入れることが難しく、治療が継続できないケースでは、本人と伴走していくことの大切さ等の意見が上がった。</p> <p>こういった障害者領域だけでは生活は完結せず、身体科やその他の領域との連携、協力の必要性について考えることができた。</p> <p>その後、情報提供として、十勝圏域の入院者統計について、数値から見える十勝の現状報告や、学校との連携について情報交換し共有した。</p>		
次回開催予定		
令和6年2月21日（水） 13：30～		

こども地域生活支援会議		
前回の開催内容報告		参加人数 名
次回開催予定 令和6年2月9日(金) 14時～16時 児童の発達支援に関わる講演会 「ことばの発達とコミュニケーション支援」 北海道立旭川子ども総合療育センター 言語聴覚士 小野 栄治氏		

医療的ケア児等支援検討部会		
前回の開催内容報告	令和6年1月30日(火) 15:00 ~ 16:15	参加人数 23名
来年度の部会の活動について。 事前に参加者より意見を聴取し、優先的に取り組むべき課題についてや、部会の活動に望む内容などについて、意見交換を行った。		
次回開催予定		

障害者計画策定部会		
前回の開催内容報告	令和6年1月16日(火) <書面開催>	参加人数 10名
新たに今年の4月から6年間の帯広市の障害福祉に関する計画「帯広市障害者共生まちづくりプラン」(原案)について、昨年12月にパブリックコメント(市民から意見を提出いただく制度)を実施し、そこででた意見や、これまでいただいていた様々な意見を踏まえ、同プラン(案)について意見を伺ったもの。		
[主な意見]		
<ul style="list-style-type: none"> ● 医療的ケア児の家族の支援は、医療との連携があって成り立つものなので、困難さを伴う現実を知った。地域の中で短期入所のサービスをしっかり作るのであれば、医療との連携が作りやすい病院が、事業所を持つのが一番良いのに…と思った。 ● 意見の募集期間(1ヶ月)に対して、意見の件数(5件・2人)は少ない印象がある。どれくらいの方に見ていただけたのか、気になるところ。パブリックコメント自体の周知や募集方法等について、効果的な方法を検討していくことも必要と感じた。 ● (短期入所先の確保・生活介護の看護師配置に関する)意見への市の回答で、「民間事業者と協力しながら確保に努める」「関係機関の皆様と共に課題解決に向けた方策の検討」に法人としても一緒に考え、努めていかなければと思った。 ● 教育相談の記載は修正されていたので納得した。追加で入れた地域生活支援拠点及び圏域相談支援体制の図がわかりやすかった。委員の意見や質問に真摯に向き合った担当者の姿勢に、好感を持った。 ● 市民の方々に見やすく、伝わりやすいと思った。 		
⇒パブリックコメント及び委員からの意見について、計画の修正を要するものはなかったことから、案のとおり市の会議に諮っていく。		

次回開催予定

令和5年度は終了。令和6年度の開催時期・内容については、別途検討。

就労・社会活動部会**前回の開催内容報告****参加人数 名****次回開催予定**

令和6年2月29日（木） 13:30～

帯広市地域自立支援協議会組織改編に伴う、就労・社会活動部会 部会長等の選任などを協議し、今後の就労支援部会について意見交換を行う予定。